

議員版マニフェスト評価シート

対象者： 三沢市議会議員 太田 博之 評価者： 早稲田大学マニフェスト研究所 客員研究員 佐藤 淳

形式的評価	実現への取組	情報公開	自己啓発	取組全般	総合評価
15点	18点	0点	8点	18点	59点

(評価者コメント)

<p>【マニフェストの形式的評価】 15 / 20点</p> <p>三沢市をどのような町にしたいのかといった地域ビジョンが明確に示されていないものの、「育み」、「安の」等、7つの視点から、体系的に21項目をマニフェストとして示している。また、その内4項目には、数値目標を示されている。地方議員の重要な役割である条例制定に関しても、4項目で掲げていることは、評価に値する。項目によって、具体性を欠くものもあるが、地方議員が示すマニフェストとしては、十分合格点を与えることが出来る。</p>
<p>【マニフェスト実現への取組】 18 / 40点</p> <p>マニフェストの20項目の内、1年目で既に15項目に関しては、一般質問や委員会の場面で取り上げている。2年目以降は、質問をするだけでなく、条例制定、予算割り当て、業務改善等の、具体的な成果が出るような活動を期待する。特に、条例制定に関しては、執行部に対して一般質問等で、単に制定を訴えるだけでなく、市民を巻き込み、議員提案として条例制定を目指すような動きが必要となる。</p>
<p>【議員活動の情報公開】 0 / 10点</p> <p>HPによる情報公開を目指しているようだが、現在のところその開設に至っていない。まずは、HPの開設だが、そのみならず、議会報告会の開催、ピラの作成配布等、様々な手段を活用して、積極的に日々の議員活動の情報公開を行うことが求められる。</p>
<p>【マニフェスト実現に向けての自己啓発の取組】 8 / 10点</p> <p>ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟のメンバーとして、関連の各種研修会に参加し、マニフェスト、議会改革の先進事例の吸収に努めている。また、三沢市議会内でも、有志による勉強会の中心的メンバーとして、議会全体としてのレベルアップを目指した取組をおこなっている。</p>
<p>【マニフェストの取組全般】 18 / 20点</p> <p>ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟のメンバーとして、マニフェストの普及と、政策中心の選挙、政治の実現に積極的に取り組んでいる。昨年は、青森県内でのマニフェスト普及を目指して11月に開催された「マニフェスト・スクール青森」の実行委員会副委員長として尽力した。また、マニフェスト・サイクルの重要性を意識し、計画的にマニフェストの内容を一般質問で取り上げ、また今回、青森県内初の議員版マニフェスト評価に挑戦した。</p>